

第V部 毎月勤労統計調査特別調査結果の概要

1 賃金の動き

(1) きまって支給する現金給与額

平成30年7月におけるきまって支給する現金給与額は、調査産業計で前年比2.3%減の181,562円となった。これを男女別にみると、男性は2.3%減の250,123円、女性は0.4%増の140,088円となった。(表1、図1)

(2) 特別に支払われた現金給与額

平成29年8月1日から平成30年7月31日までの1年間に特別に支払われた現金給与額は、調査産業計で前年比4.4%増の220,829円となった。これを男女別にみると、男性は7.7%増の326,765円、女性は3.6%増の156,404円となった。

また、年間特別給与支給割合(7月の月間きまって支給する給与に対する年間の特別に支払われた給与の割合)は、調査産業計で1.22ヶ月分(前年1.14ヶ月分)となった。(表2、図2)

表1 産業、性別きまって支給する現金給与額

産業、男女別	規模1～4人事業所		
		対前年比	
	円	%	%
調査産業計	181,562	△ 2.3	(△ 4.5)
男	250,123	△ 2.3	(△ 2.5)
女	140,088	0.4	(△ 2.7)
建設業	261,036	△ 2.0	(10.8)
製造業	186,977	△ 2.4	(13.0)
卸売業, 小売業	173,518	△ 3.0	(△ 6.8)
宿泊業, 飲食サービス業	90,607	△ 11.7	(△ 15.9)
生活関連サービス業, 娯楽業	143,253	7.1	(△ 1.2)

注) ()内は、平成29年調査の前年比の数値である。

図1 産業別、性別きまって支給する現金給与額

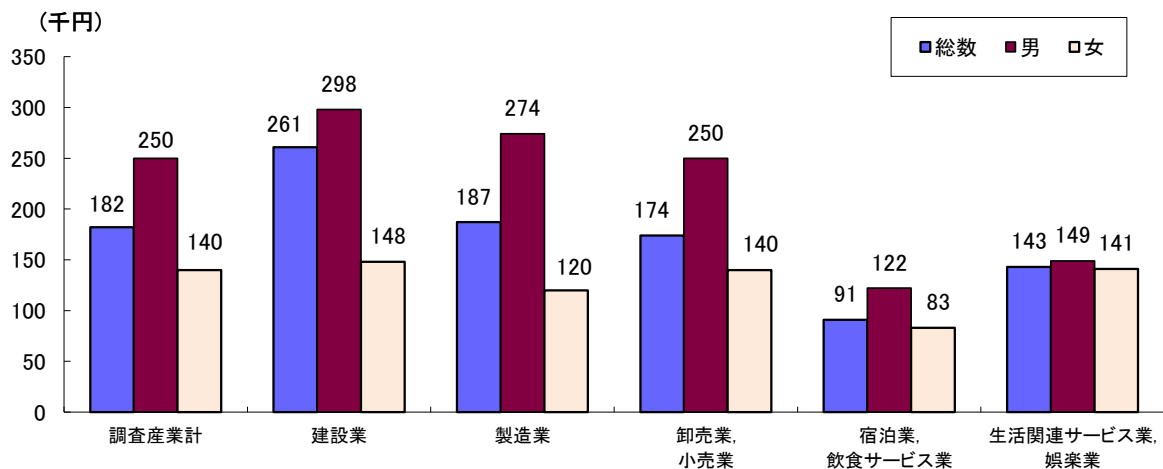


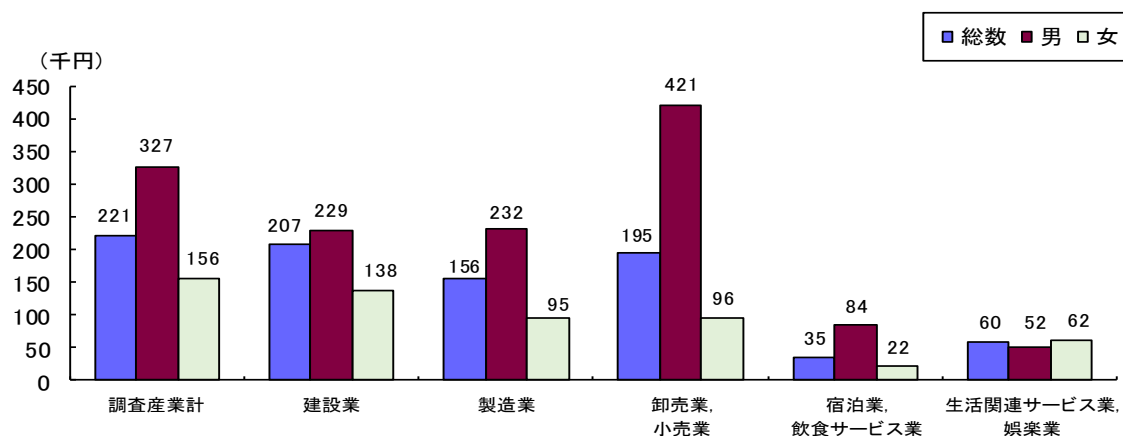
表2 産業、性別年間に特別に支払われた現金給与額

産業、男女別	実 額	前年比		支給割合	前年差
		円	%		
調査産業計	220,829	4.4	(△ 14.1)	1.22	0.08
男	326,765	7.7	(△ 10.4)	1.31	0.12
女	156,404	3.6	(△ 13.3)	1.12	0.04
建設業	206,813	△ 9.9	(41.0)	0.79	△ 0.07
製造業	156,158	17.6	(△ 36.6)	0.84	0.15
卸売業, 小売業	195,133	2.0	(△ 37.8)	1.12	0.05
宿泊業, 飲食サービス業	35,464	85.5	(△ 57.4)	0.39	0.20
生活関連サービス業, 娯楽業	59,724	3.7	(85.6)	0.42	△ 0.01

注：1) 年間に特別に支払われた現金給与額は、勤続1年以上の常用労働者について平成29年8月1日から平成30年7月31日までの1年間に支給された額を集計したもので、賞与のほか、ベースアップの差額支給分等を含む。

2) () 内は、平成29年調査の前年比の数値である。

図2 産業、性別年間に特別に支払われた現金給与額



2 出勤日数と労働時間の動き

(1) 出勤日数

7月における出勤日数は、調査産業計で前年差0.4日減の19.7日となった。これを男女別にみると、男性は0.4日減の20.7日、女性は0.4日減の19.1日となった。(表3、図3)

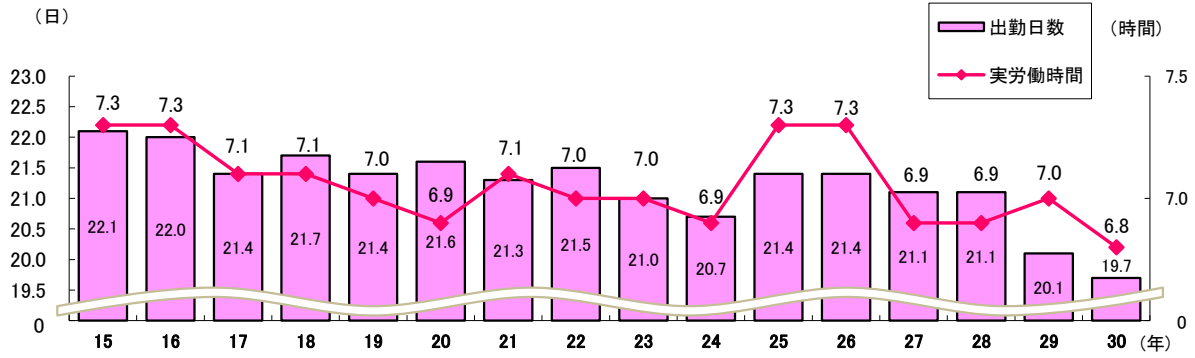
(2) 実労働時間

7月における通常日1日の実労働時間数は、調査産業計で前年差0.2時間減の6.8時間となった。これを男女別にみると、男性は0.3時間減の7.6時間、女性は0.1時間減の6.3時間となった。(表3、図3)

表3 産業、性別出勤日数及び通常日1日の実労働時間

産業、男女別	出 勤 日 数		実 労 働 時 間	
	日	前年差	時間	前年差
調査産業計	19.7	(△ 0.4)	6.8	(△ 0.2)
男	20.7	(△ 0.4)	7.6	(△ 0.3)
女	19.1	(△ 0.4)	6.3	(△ 0.1)
建設業	21.7	(△ 0.4)	7.3	(△ 0.4)
製造業	21.0	(△ 0.1)	6.7	(△ 0.1)
卸売業, 小売業	20.1	(△ 0.6)	7.1	(△ 0.1)
宿泊業, 飲食サービス業	15.7	(△ 2.0)	5.4	(△ 0.1)
生活関連サービス業, 娯楽業	19.7	(1.0)	6.8	(0.1)

図3 出勤日数及び通常日1日の実労働時間



3 雇用の動き

(1) 常用労働者数

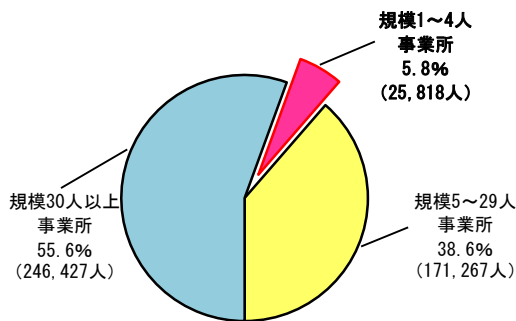
7月末の常用労働者数は、調査産業計で前年比0.2%増の25,818人となった。これを男女別にみると、男性は5.0%減の9,731人、女性は3.7%増の16,087人となった。

女性常用労働者の割合は2.1ポイント増の62.3%となった。(表4、図4、図5)

表4 産業、性別常用労働者

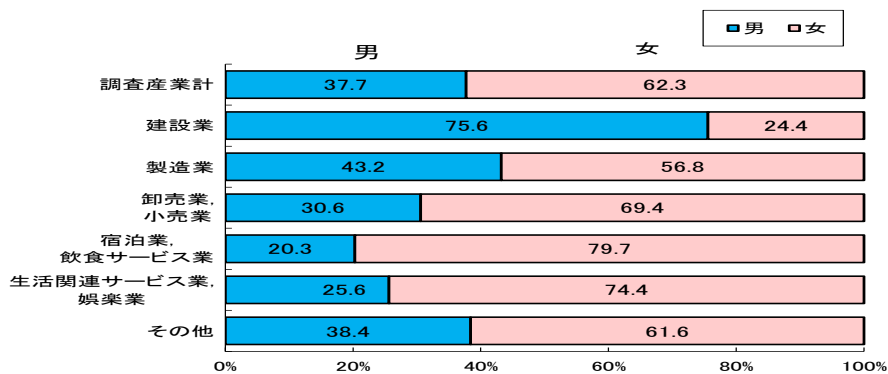
産業・男女別	規模1~4人事業所	
	(人)	対前年比
調査産業計	25,818	0.2
男	9,731	△ 5.0
女	16,087	3.7
建設業	3,008	△ 15.5
男	2,274	△ 18.9
女	733	△ 2.9
製造業	2,013	13.3
男	870	△ 9.0
女	1,143	39.2
卸売業, 小売業	7,804	3.9
男	2,391	△ 8.0
女	5,413	10.2
宿泊業, 飲食サービス業	2,776	13.1
男	564	27.9
女	2,212	9.8
生活関連サービス業, 娯楽業	2,275	△ 18.0
男	583	6.4
女	1,692	△ 24.0

図4 規模別常用労働者数とその割合



(注)規模5人以上の常用労働者数は、毎月勤労統計調査地方調査(平成30年7月)による。

図5 産業別常用労働者男女割合

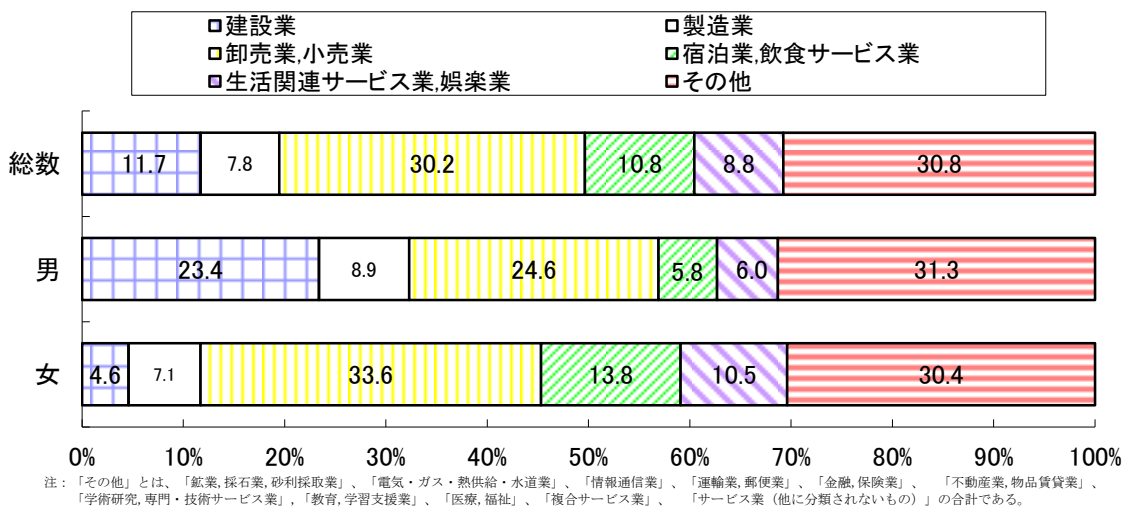


(2) 常用労働者構成比

常用労働者の産業別構成比をみると、「卸売業、小売業」が30.2%と最も多く、次いで「建設業」の11.7%、「宿泊業、飲食サービス業」が10.8%、「生活関連サービス業、娯楽業」が8.8%、「製造業」が7.8%の順となった。

男性常用労働者では、「卸売業、小売業」が24.6%と最も多く、次いで「建設業」が23.4%、女性常用労働者では、「卸売業、小売業」が最も多く33.6%で、次いで「生活関連サービス業、娯楽業」が13.8%となった。(図6)

図6 産業、男女別常用労働者の分布



4 全国との比較

(1) きまって支給する給与

きまって支給する給与は、全国は195,476円であったのに対し、富山県は181,562円で全国を13,914円下回った。(表5)

(2) 特別に支払われた給与

年間の特別に支払われた現金給与額は、全国は235,684円であったのに対し、富山県は220,829円で全国を14,855円下回り、年間特別給与支給割合でも全国1.21ヶ月に対し、富山県1.22ヶ月で全国を0.01ヶ月上回った。(表5)

(3) 出勤日数

月間出勤日数は、全国は19.9日、富山県は19.7日で、全国を0.2日下回った。(表5)

(4) 実労働時間数

通常日の実労働時間数は、全国は7.0時間、富山県は6.8時間で全国を0.2時間下回った。(表5)

表5 全国比較 (調査産業計)

	富山県 (A)	全国 (B)	比較 (A - B)
きまって支給する現金給与額	181,562円	195,476円	△ 13,914円
年間特別に支払われた現金給与額	220,829円	235,684円	△ 14,855円
支給割合	1.22ヶ月	1.21ヶ月	0.01ヶ月
出勤日数	19.7日	19.9日	△ 0.2日
通常日の実労働時間数	6.8時間	7.0時間	△ 0.2時間
常用労働者数	25,818人	1,792,368人	—